

## 県内でも、医療勤務環境改善マネジメントシステムを導入している医療機関はあるの？



### ●『医療勤務環境改善マネジメントシステム』とは

医療機関が幅広いスタッフの参加のもとで PDCA サイクル※により計画的・継続的・自主的に勤務環境改善に取り組む仕組みです。

※PDCA サイクル…P (計画)、D (実行)、C (評価)、A (改善) を繰り返すことによって継続的に業務改善をすること。

当センターでは、この仕組みを利用して勤務環境改善に取り組む医療機関を「モデル医療機関」として支援しており、これまでに 4 施設がシステムを利用した勤務環境改善に取り組みました。

～当センターの支援によるマネジメントシステム導入実績～

- ・平成 27 年度～平成 28 年度… 1 施設
- ・平成 29 年度… 3 施設



### ●平成 27 年度～28 年度モデル医療機関の取組事例

- ・時間有休制度とリフレッシュ休暇を導入  
⇒特に子育て世代の職員が子どものことで休暇を取りやすくなったと好評を博している。
- ・職員の健康支援のために「腰痛・肩凝り対策体操」を実施  
⇒参加した職員からは好評だったが、実施する時間に仕事の都合がつけにくい職員が多く、タイミングと頻度が課題。
- ・衛生材料の一部ディスポ化の実施  
⇒手術室で綿球を手作りしていたが、職員の働きやすさ確保のためにディスポ製品を併用してみると職員に好評だったため、徐々に品目を増やしていている。

### ●平成 29 年度モデル医療機関の声（アンケートから抜粋）

- 「最初はとっつきにくかった」
- 「病院は、様々な職種と勤務形態があって、それぞれ抱えている問題が違うため、改善ポイントを決定する作業が難しかった」
- 「(アドバイザーから) 労務管理等の基本的なことを教えてもらい大変勉強になった」
- 「病院全体で問題点を改善していこうという意識ができた」
- 「職場がワークライフバランスのとれた働き方を意識するようになった」

☆29 年度に、  
「方針表明⇒体制整備⇒  
現状分析⇒目標設定」まで到達。  
☆30 年度に、「計画策定⇒取組の  
実施⇒評価・改善」を行う予定。



医療機関は様々な専門性の高い職種の集まりであり、現場の声を聞きながら、業務の見直しや、考え方の統一をすることが容易ではありません。この『医療勤務環境改善マネジメントシステム』を利用することで、着実に勤務環境を改善し組織力を高めることができます。良い人材は、「雇用の質」の高い医療機関に集まります。システムを利用して、医療従事者が健康で安心して働ける職場を目指しましょう。

⇩ 勤務環境に関するご相談はこちら ⇩

社会保険労務士や医療経営コンサルタントからのアドバイスが無料で受けられます！

## 高知県医療勤務環境改善支援センター

(事業受託者：一般社団法人 高知医療再生機構)

TEL 088-822-9910

平日 8:30 ~ 17:15 まで

ホームページ <https://www.kochi-mrr.or.jp/kinmukankyoukaizen>

E-mail [kinmukankyoukaizen@kochi-mrr.or.jp](mailto:kinmukankyoukaizen@kochi-mrr.or.jp)

勤務環境の  
ことならお任せ

